

## 宮崎大学医学部医の倫理委員会議事録

日 時：令和6年3月7日（木）14時00分～15時40分

場 所：第二会議室（旧管理棟3階）

出席者：板井委員長、武谷委員、加藤委員、児玉委員、池田委員、大塚委員、木下委員、  
藤久保委員、富山委員、山口委員

欠席者：渡邊委員、柳田委員、宮本委員、澤口委員、上地委員

オブザーバー：岩江准教授、森田助教、三浦臨床倫理認定士

委員会事務局：河野係長、入来係員、辻井係員、唐川事務職員、長友事務職員、肥田事務補佐員

### 1. ショートレクチャー

「指針改正に伴う倫理審査申請システム及び審査書類雛形の改訂について」

岩江准教授から指針改正に伴う倫理審査申請システム及び審査書類雛形の改訂について説明があった。主な内容は次のとおり。

#### ①倫理審査申請システムの改訂について

- ・変更申請時に、前回申請で審査の対象となった全ての文書が自動的に反映されているので、変更が必要なファイルだけをアップロードして差し替えるだけで済むようになる。
- ・「研究方法に関連する情報」の選択項目を分かりやすく改訂し「新規に取得する試料・情報」と「既存試料・情報」の説明を記載した。

#### ②研究計画書等のひな形の改訂について

- ・「電磁的方法によるIC取得」の項目を追加した。
- ・「13. 研究資金及び利益相反」について、チェックリスト方式を取り入れて研究資金の内容と利益相反の内容を記入しやすくした。

### 2. 報告事項

(1) 持ち回り審査の際に委員からいただいたご意見について

#### ①多機関共同研究で代表機関にのみ企業資金の受入がある場合の取扱い

板井委員長から、本学の研究者の中に当該企業と個人的な利益相反（謝礼をもらっている等）がある場合は利益相反マネジメント委員会の管理の対象となる旨説明があった。

#### ②研究課題名に一般の方には馴染みのない言葉が使用されている場合の取扱い

板井委員長から、研究課題名については承認後、jRCTやUMIN-CTR等のデータベースに登録されるために、それを変更することは難しいため、一度承認された研究課題名に一般の方にとっては馴染みのない言葉が使用されていたとしてもそのまま使用することを了承いただきたいと説明があった。

(2) 議事要旨（令和6年2月1日開催分）

各自で資料を確認することとした。

- (3) 持ち回り審査結果等報告について  
各自で資料を確認することとした。

以上